

建築物ライフサイクルカーボン算定・削減の最新動向

主催：(公社)日本冷凍空調学会 関東地区事業推進委員会

協賛：(公社)空気調和・衛生工学会、(一社)日本建築学会、(一社)日本冷凍空調設備工業連合会、
(一社)日本冷凍空調工業会、(一財)日本冷媒・環境保全機構 予定

開催日：集合型 2026年8月21日(金) 13:00-16:30 (受付12:30-)

場所：ダイキン工業株式会社 東京支社(東京都中央区八重洲二丁目2番1号 東京ミッドタウン八重洲)

定員：80名 ※集合型への参加登録者は後日オンデマンド配信もご視聴いただけます。

オンデマンド配信予定：2026年8月28日(金)~9月28日(月) 定員なし

建築物セクターは世界全体のGHG排出量の約4割を占め、その削減に向けて、建築物がライフサイクルで排出するGHGであるライフサイクルカーボン(ホールライフカーボン)の算定・評価や削減に関する制度づくりが国際的に進められています。我が国においても、2028年から一定規模・用途の建築物に対して、ライフサイクルカーボン評価結果届出の義務付けが議論されています。

冷凍空調分野においては、データ整備やライフサイクルカーボンの算定・評価が求められるほか、その削減に向けては従来からの省エネ努力に加え、素材、製造、輸送、廃棄を含むライフサイクル全体での取り組みが求められ、冷凍空調設備の評価や事業のあり方に大きな影響が生じることが予想されます。

本セミナーでは、ライフサイクルカーボンに関する最新動向から実際の算定事例、建材や実建物での削減取り組みについて各分野の第一人者からご講演いただきます。冷凍空調分野の今後の対応を考える上での有益な意見交換の場となれば幸いです。皆様ふるって参加されますようご案内申し上げます。

1 基調講演

1.1	建築物ホールライフカーボンに関する国内外の最新動向(仮)	伊香賀 俊治 (一財)住宅・建築SDGs推進センター 理事長/慶應義塾大学 名誉教授	13:00- 13:40
-----	------------------------------	--	-----------------

休憩

2 ライフサイクルカーボン算定・削減の取り組み事例

2.1	建築物ホールライフカーボンの算定事例(仮)	丹羽 勝巳 (株)日建設計	14:00- 14:35
2.2	建設のGHG算定の自動化(仮)	野口 祐輔 (株)ゴーレム	14:35- 15:10

休憩

2.3	建築物ホールライフカーボン削減に向けた建材側の対策(仮)	小山 明男 明治大学 理工学部建築学科 教授	15:20- 15:55
2.4	大成建設グループ次世代技術研究所におけるゼロカーボンビルの取り組み(仮)	砂賀 浩之 大成建設(株)	15:55- 16:30

※講演者、プログラム等は予告なく変更する場合があります。予めご了承下さい。

参加費(税込)：本学会と協賛団体の会員 9,000円 冷凍技士 5,000円 非会員 15,000円
会員学生 2,000円 非会員学生 4,000円

集合型も、オンデマンド配信型(講演ビデオ視聴型)も参加費は同額です。

集合型に参加登録を頂いた方は、オンデマンド配信の動画視聴も可能です。

オンデマンド希望の場合は予め[【視聴環境確認ページ】](#)より、テスト動画が再生できることを必ずご確認ください。

申込方法：本セミナーは冷凍CPD会員登録者のみ受講できます。

未登録者はホームページより「冷凍CPD会員」登録後にセミナーにお申し込みください。

集合型の申込は学会ホームページ(下記URL)から開始し6月21日に締め切る予定です。

お早めにお申し込みください。(参加費のお支払い期限：6月末日)

申込URL → <https://jsrae-edu.org/>

備考1：受講する為には、冷凍CPD会員の登録が必要となりますが、登録は無料です。

備考2：申込完了後に届く自動メールから「請求書」がダウンロードできます。

セミナー参加費の振込先銀行口座は請求書に記載されています。

備考3：お振込み確認後、或いはクレジット決済で申し込まれた方には「領収書」を自動メールでお送りします。領収書も請求書と同様にWEBにてダウンロード、印刷できます。

この領収書は従来のセミナー・見学会参加券同様、5枚集めることで年次大会へ1名無料で参加することが出来ます。(有効期限：セミナー開催日から3年間)